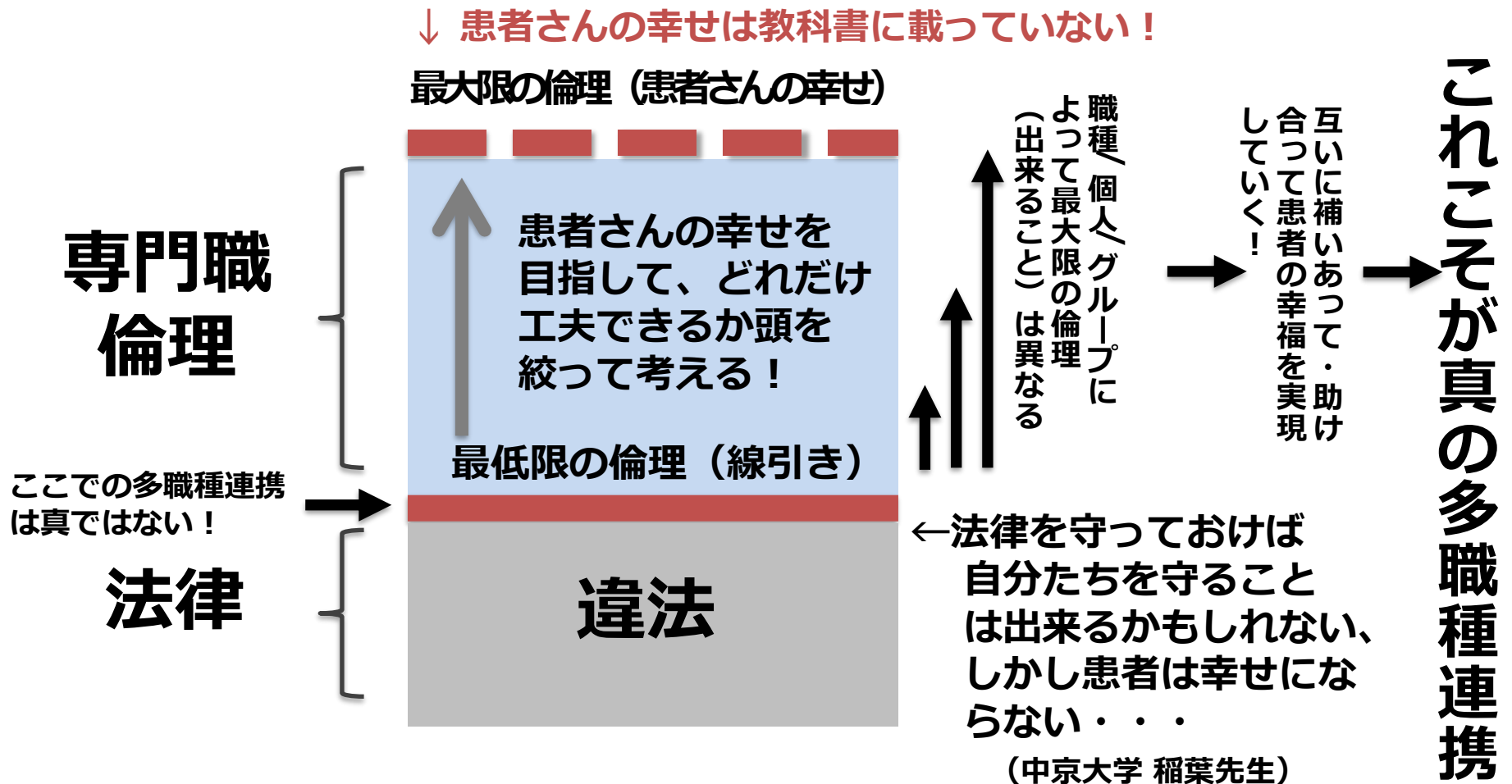


最低限から最大限の倫理へ



私たち専門家の中にある 最大限の倫理を妨げている要因とは？

- 忙しさを理由に、自分たちの都合を優先し、「これは私たちの仕事ではない」と理由をつけて断ってしまう
- 目の前の専門家として最低限やるべき仕事しか目に入らず、「何が患者さんの幸福か？」という最大限の倫理へ思いを馳せることなく、患者の思いが置き去りになる（最低限の倫理で終わってしまう）
- 自分たちの仕事ではないがしかし、多職種でどうにかして互いに助け合いながら、互いを補い合いながら、患者家族の最善・幸福を達成しようと一致団結する連携体制の欠如
- 目的と手段を取り違えてしまい、手段がいつのまにか目的になってしまっている（ことに全く気づいていない）

医療では、患者にできる限りの最善の
治療を届けたいという専門家としての
思い（目標）が先行するあまり、
手段（医療）と目的（幸福）を混合し、
いつのまにか本人不在の医療をして
いないか、自己満足になっていないか、
思考停止していないかと立ち止まって
考える

